

V6-d システム エンジン

V6-d



特徴

- VUE al-8ラインアレイシステムに対応するDSP内蔵2Uアンプ
- 96kHzのサンプリングレート、64ビット・ミックスドモード処理、プレミアム・コンバータにより、120dBのダイナミックレンジを実現
- 1ms以下の低レイテンシー (640 μ s)
- SystemVUEソフトウェアで制御可能
- あらゆるプロフェッショナルシステムに対応できる最大入力レベル +23dBu
- 世界のどこでも使用可能なユニバーサル電源仕様 (85-268 v)
- 入力レベルと遅延 (最大2000ms) の制御
- 高性能DSPによる入出力、電圧、温度などアンプ機能の監視と保護
- 障害が生じた際、自動でアナログに切り替わるスマート入力検出回路を内蔵
- Danteに対応

次世代DSP回路

V6-d心臓部には、プロオーディオ向けDSPソリューションの世界的サプライヤーであるALLDSP社のフルカスタマイズされた集積回路が搭載されています。この高性能なプロセッサは、他のシステムエンジン、V3-i V4-d、更にh-Classパワードスピーカーを含む多くのVUE製品ラインでも採用されています。このことは、製品や製品クラスに関係なくVUE DSPとネットワーク機能が共通であることを意味しています。異なるVUE製品とも簡単にネットワークを構成ができ、SystemVUEソフトウェアを介したコントロールが可能です。al-Classのラインアレイシステム al-8、al-8SBのドライブプログラムを内蔵したV6-dシステムエンジンは「簡単なセットアップで、優れた音響パフォーマンス」を実現します。

V6-d システム エンジン

V6-d

ネットワーク対応のソフトウェア コントロール

V6-dシステムエンジンは、VUEスピーカーをネットワーク対応DSP内蔵パワーアンプを介した「ラウドスピーカーシステム」に昇華させます。

V4-dシステムエンジンの次世代DSPは、スピーカー保護システムに最適化されたEQ、時間軸、クロスオーバー機能のコントロール、システム構成の設定などすべてのシステム処理と管理機能を処理します。

V6-dシステムエンジンは、WindowsのSystemVUEソフトウェアとの互換性を持ち、システムのモニタリングも可能です。



整合性のあるクラスDアンプリファイヤー

V6システムエンジンは、V4と同じ2Uサイズのままアンプを2基追加して2in/6out構成となっています。

出力は低域用に1600wで2チャンネル、中域用に550wで2チャンネル、高域用に550wで2チャンネルです。

内蔵されているDSPにより、al-8ラインアレイシステムをドライブする事が出来ます。

内蔵DSPは64ビット96kHzのサンプリングレートで120dBのダイナミックレンジを実現させています。

また、85v~268vの電圧に対応するユニバーサル電源仕様で設計されているため、世界のあらゆる場所で使用出来ます。

内蔵のプリセットプログラムにより、1台のV6-dシステムエンジンは出力チャンネルあたり2台、合計で4台のal-8を理想のレベルまで昇華させます。

V6-dはまた、al-8SB 3台をカーディオイド・ドライブさせたり、2台のas-418 サブウーファーをドライブするような特殊用途にも対応できます。(専用ケーブルが必要となります)

